

教育体験 in 芸北

平成 27 年 8 月 5 日～8 月 7 日の 3 日間、県立広島大学国際文化学科の学生が広島県立加計高等学校芸北分校のサマーセミナーで講師を務めました。

このセミナーは、北広島町と周辺の高校生・中学生が集まり、仲間づくりや学力向上、地域の担い手としての意識向上などを目的として行われるもので、本学は高大連携の取組の一環として平成 21 年度から学生を派遣しています。

今年度は、芸北分校のほか、広島県立加計高等学校、広島県立千代田高等学校、北広島町立芸北中学校から 119 人の生徒が集まりました。

本学からは教職志望の 4 年生 3 人が参加して国語・社会・英語の授業を担当したほか、講話、進路・学習指導などを行い、地域活性化座談会にも参加しました。以下は学生の感想です。



「どのような教育をしたらこのような生徒が育つのだろう」芸北分校に来て最初に思ったことです。どんなに遠くにいても、何度顔を合わせても必ず大きな声であいさつをしてくれる芸分生に、驚きながらも感心していました。そして素晴らしい自然の中でのびのびと育った生徒たちは私にはまぶしすぎるほど輝いていて、「もう一度高校生に戻りたい」と思わず口に出してしまいました。

そんな姿から私は「素直でいることの大切さ」を学びました。芸分生はとにかく素直でした。きっと“なんでこんなことをしなくちゃいけないんだ”という感情は抱かないだろうかと、驚いてしまうほどです。いつでも大きな挨拶をすること、返事をする事、一生懸命に部活をすること、自然を楽しむこと、すべてが生徒たちにとって何の疑いを持つこともなく当たり前のことでした。教えてもらったことを当たり前のことだと素直に思うことは、実はとても難しいことです。そして年を重ねれば重ねる程、素直でいることは難しくなるかもしれません。その素直さは、芸分生にとって高校を卒業した後も残り続ける大切な財産になると思います。

生徒には、多文化共生社会について学んでほしいと考えました。大学で受けた授業を参考にしながら、ルールを自分なりに考えてゲームをやらしてもらいました。様々な文化

や習慣，価値観を持った人が世界にはたくさんいるということを感じてもらふことや，3校が交流することを狙いとして授業を行いました，想像以上にまとめるのが難しく反省点が多々ありました。しかし，生徒からは「これから自分はどうしていくべきか考えようと思った」など前向きな感想をもらいました。私の思いは生徒に伝わったと感じることができ，教師という仕事のやりがいと苦勞を学ぶこともできました。

不安な気持ちから始まったサマーセミナーでしたが，帰るのが名残惜しくなるほど私にとって貴重な体験となりました。芸北分校だけでなく，芸北という地域の素晴らしさも発信していきたいと思います。

私はこの芸北分校のサマーセミナーで講師を行うことで，三つのことを学ぶことができた。まず一つ目は，芸北地域について知ることができたことである。私は広島生まれ広島育ちだが，芸北地域について何も知らなかった。しかし今回，周りの植物や育てたリンゴを食べたり，神楽を実際に見たり，芸北地域で生活する生徒や先生と関わることで多くの魅力を知ることができた。また田舎の学校のイメージがあまり湧いていなかったが，今回の経験を通して生徒数が少なく個人に合った教育を行えること，周りの自然が豊かで街の学校ではできない地域学習や絆を深める学習ができることに気づかされた。

次に二つ目は，自分の授業について振り返ることができたことである。正直1日目は，生徒の様子も分からなかったので授業の進め方も曖昧なものになってしまった。その後生徒からの感想を見ると，準備不足を実感することになった。そのため夜にしっかり準備を行うことで，2日目の生徒の感想はより良いものになっていった。このように生徒の反応を感想として見ることができるので，自分の授業を客観的に見ることができた。生徒に合った授業ができたかは分からないが，何人からの感想からは私が目標としていたことを実感してくれたのでいい経験になった。

最後に三つ目は，自分の教育観を広げることができたことである。特に感じたのは，あいさつの大切さである。私が将来教員としてどういう生徒を育てていきたいのか漠然としか考えていなかったが，当たり前なのが当たり前でできる生徒と関わり，あいさつができる生徒を育てたいと強く感じた。あいさつを大きな声ですること生活にメリハリがつき，人として大切な要素を備えることができる。他にも生徒から大切なことを多く学ぶことができた。本当に有意義な3日間になった。

私は，中学生を1コマ，高1と高2を2コマずつ，センター英語を4コマの計9コ

マの英語を担当させていただきました。英語で絵本を読んだり、漫画の表現を日本語に訳したり、英語と日本語のことわざを比較したクイズをするなど、生徒が主体的に取り組めるような授業を心がけました。各時間ごとに生徒から感想をもらったので、それをもとに次の日の授業を改善しました。授業では自分の中で課題が残りましたが、この反省を生かしてこれからより勉強に励んでいきたいと思います。生徒や教員の方たちがとても温かく私たちのことを迎え入れてくださり、気持ちよく授業をすることができました。休み時間などにもっと生徒と触れ合えばよかったというのが心残りです。満天の星空や神秘的な池など芸北の自然の美しさも印象に残っています。また、神楽を初めて生で見て、とても迫力がありました。このような素晴らしい芸北の地で講師体験ができて本当に良かったです。